

增脩改正攝州大阪地圖

全



極

此圖係由大正九年七月... 繪成其間... 凡有... 諸君... 幸垂... 察焉...

東

西

北

大正九年七月... 繪成其間... 凡有... 諸君... 幸垂... 察焉...



增脩改正攝州大阪地



7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9



東



東



生駒山

内垣中

藤尾山

時瀬川

高野川

山野交

三浦

山根比

三浦

三浦

三浦

高槻

川芥

榎並六所

蓮花村

古大和川
高井川

高井川

田代川

榎並社



内村

三浦

三浦

三浦

村

三浦

三浦

三浦

三浦

北
區

全



生吉街

十初年

生吉街



山面其

寺屋原

木茂





住吉街道

八三三

十三間川

七番二

津守新田

月正島

難波村田地

梅多村

大津川

大津川口

今木新田

十島新田 中島新田

寺嶋田地

勘助島田地

三軒屋川

御船蔵

成屋新田 十島新田

十島新田

九條嶋田地

泉屋新田

市園

九條村



九條町

九條町

九條町

丹波

丹波

古田

上福島田

大仁村

浦江村

栗木村

新江家

丹波

丹波

丹波

丹波

北

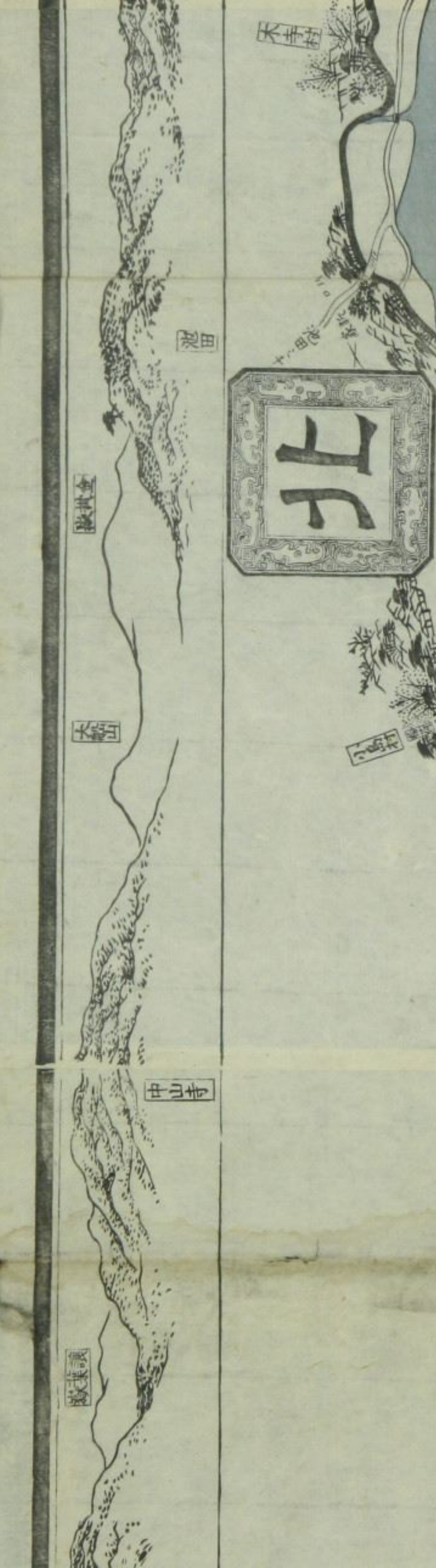
飛田

殿武金

木橋

中山寺

殿求誤





新修浪華地畝序

古昔職方氏掌邦城之圖典刑之所要民事之所係不可以一日闕之者也雖町疃隘巷之細豈可忽諸我浪華者南圻之一大都會而四方之所輻湊候郵連甍民豪比屋車轂擊人肩摩戶以制錢帛之用家以據魚米之利其為地勢也北極出地三十四度六十五分東控京華之大道西接海門之又口首石城矜江流衣帶溝渠沃野日闢民戶歲增雖蕪抗之繁美莫之過矣書肆赤松善應者板蕩浪華地圖而將刑定焉凡大都之區別編戶十萬官稿一百七十圖歲之中頗有增損語曰大車不較不能載其常任非直制畜之難而刑定也匪易也先是有澤田翁者浪華之隱士也家承管魚氏諱負矩字呂少其趨息之慶長茂館其為人也謹儉質素遠於世利惟從其所好以享保丁酉三月四日生以安永己亥九月七日終享年六十三際其生卒博極輿地圖之制通邑大都名山勝槩無論志縣神州夷蠻八紘之區域耳目之所到足跡之所歷輒以圖之者通小大亡慮一千三百有餘云不亦偉乎其畫削鉛槧左繩右墨孜孜不怠寢食者五十年如一日矣蓋夫明者不能審百步之外或身在廬山中不識廬山面目云者歟草萬頃於席間悉寰區於目下尺吳寸楚秩然井井歷面之時大美哉翁嘗制浪華地圖而未脫稿赤松氏將就而語焉居三何翁溘尔逝矣山年不可復追爾志松氏其如之何於是乎略因翁之稿本而經始刪修之事區而躡之曲而履之左提右挈職是之力不唯為翁之所為也三揆表葛而新修浪華畝成庶使觀者免北轅遠越之嘲赤松氏之業可謂勤矣方今國家清治制度典刑日新之秋也斯舉也瑣二奚係典刑之事式雖然是謂之獻可之類乎翁嘗以地圖癖亦一家也其浩博之畧本而今一無見之也為可惜矣又懼其為人故苟及之遂引其端云

天明歲在昭陽志奮若南至日書于讀騷菴中

浪華寓生曾之唯圖



⊕ 追手口御城代御屋敷
並御家中屋敷

○ 京橋口御定番御屋敷
御家中並與方同屋敷

⊕ 壬造口御定番御屋敷
御家中並與方同屋敷

⚡ 兩町御奉行御船手御屋敷
並諸御役人與方同心屋敷

⚡ 御代官御屋敷

⊕ 諸國御藏屋敷以學士様分
御知行御國御城下等別紙發之

● 此印北組町數二百五十町
▲ 此印南組町數二百六十二町
△ 此印天滿組町數百九町
∧ 三郷異名合文
通計六百廿町

元祿元年戊辰新地之町々毎年御地代金出
同十一年戊寅 新地之分三十三町右之内補通町目
北塔江二町目之内二役同四町目之内
一役ノ摩子屋町毎手御地代金出
大坂町中社拾壹ヶ所寺三百五十三ヶ寺但道場凡
町端差地除之

△ 間敷合印

高麗橋ヨリ近所道法

南北四十四町北八間餘 但 北八天満源八町北屋ヨリ 但 南法法寺ニテ橋トモ 天満橋 里ノ五里八町北八間餘	南北五十九町四十三間餘 但 北八天満池田町北産ヨリ 但 南法法寺ニテ橋トモ 天満橋 里ノ一里半五丁四十三間餘	南北三十四町九五間餘 但 北八天満源八町北屋ヨリ 但 南法法寺ニテ橋トモ 天満橋 里ノ一里半五丁四十三間餘	東西四十町十間餘 但 東八天満源八町北屋ヨリ 但 西八天満源八町北屋ヨリ 天満橋 里ノ一里四丁十間餘	東西九町四十二間餘 但 東八天満源八町北屋ヨリ 但 西八天満源八町北屋ヨリ 天満橋 里ノ一里四丁十間餘	東西三十六町二間餘 但 東八天満源八町北屋ヨリ 但 西八天満源八町北屋ヨリ 天満橋 里ノ一里二間餘	東西五十一町四十九間餘 但 東八天満源八町北屋ヨリ 但 西八天満源八町北屋ヨリ 天満橋 里ノ一里十五丁四十九間餘	但町八十六町間壹町里六三十六町	堂島安治川 元祿元戊辰年 開地	堀江富島 同十一戊寅年 開地	曾根寺 寶永五戊子年 開地	高津新地 延享元甲子年 開地	明和乙酉年 開地	明和乙酉年 開地	増地
---	--	---	--	---	---	--	-----------------	-----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	-------------	-------------	----



追手口御城代御屋敷
並御家中屋敷

京橋口御定番御屋敷
御家中並與方同心屋敷

玉造口御定番御屋敷
御家中並與方同心屋敷

兩町御奉行御船手御屋敷
並諸御役人與方同心屋敷

御代官御屋敷

諸國御藏屋敷以國字三藏分之
御知行御國御城下並別紙變之

此印北組町數二百五十町
此印南組町數二百六十二町
此印天滿組町數百九町
三郷異名合文
通計六百廿町

間敷合印

南北四十四町八間餘 但北八天滿原八町北庄ヨリ
里ノ壹里八町九間餘
南北五十九町四十三間餘 但北八天滿池田町北庄ヨリ
里ノ壹里五十四三間餘
南北三十四町九五間餘 但北八天滿一町目ヨリ
里ノ壹里一町四十四間餘
東西四十町十間餘 但東野由町庄ヨリ
里ノ壹里一町四十四間餘
東西九十九町四十二間餘 但東町御奉行御屋敷ヨリ
里ノ壹里一町四十四間餘
東西三十六町二間餘 但東伏見限町ヨリ
里ノ壹里一町二間餘
東西五十一町四十九間餘 但東八安治川北三町目庄ヨリ
里ノ壹里一町五十四九間餘
但町八六十間壹町里三十六町

元祿元年戊辰新地之町、毎年御地代金出
新地之分三十三町之内、橋通町
同十一年戊寅 北堀江二町目之内、二役同四町目之内
一役、除寺幾町、毎年御地代金出
大坂町中社拾壹ヶ所寺三百五十三ヶ所、但道場凡
町端巷地除之

高麗橋ヨリ近所道法

御城	十丁追手	十丁真田山	廿丁小橋	廿丁
生玉	廿丁高津	廿丁一心寺	一里天王寺	一里
清水	廿丁三津寺	廿丁難波	一里東御堂	十丁
西御堂	廿丁福島	一里大仁	廿丁前根寺	廿丁
天満	廿丁	廿丁	廿丁	廿丁
三軒家	一里大橋手	廿丁本庄	廿丁長柄	一里
興正寺	十八軒家	五丁野田	一里寺島	一里
茨住寺	廿丁京橋	十丁野江	十丁佐太	三里
道明寺	里生駒山	五里枚方	五里志貴	五里
野寺	三里松原	三里平野	二里住吉	二里
堺	三里守口	二里八尾	三里上太子	七里
奈良	八里江口	二里神崎	二里池田	五里
伊丹	里茨木	五里富田	壹里榎原	五里
箕西	六里勝寺	壹里岸和田	壹里郡山	八里
新山	七里牛滝	九里尼崎	三里西宮	五里
兵庫	十里伏見	十里有馬	九里京	十三里
開地	高津新地	延享元年甲子年	開地	
開地	同	明和二年乙酉年	開地	
開地	本町東西曲立番地	明和二年乙酉年	増地	
開地	西成庄堀海部堀	安永八巳亥年	増地	
増地	江戸堀江之子島鼻	天明三癸卯年	築地	
増地	今橋西詰蟹島			

繪圖師 大岡尚賢訂正
去橋 岡田玉山寫圖

曾之唯 補正
赤松善應 校正
南方惺惺 書
小林平八 鐫字

浪速

天明九年己酉二月 御免
文化三年丙寅三月 彫成

浪華書屋
高麗橋壹町目
赤松九兵衛發行



增脩改正攝物大阪地圖

全

和装本

ル 11

221

